

平成29年度 事務事業評価シート(実施計画事業 **経常事業**)

事業の概要	事務事業名	多文化共生推進事業						担当部	地域活性化営業部		
	会計区分	一般会計						担当課	シティプロモーション課		
	事業期間	平成26年度以前 ~ 平成30年度まで						担当係	にぎわい創出係		
	基本施策・展開方向	5 産業・交流		18 シティプロモーション		5 都市間交流の推進および国際感覚を醸成します					
	予算区分	款	7	項	1	目	4	大	4	中	1
	根拠法令・個別計画	小牧市多文化共生推進プラン～「できることからはじめよう」編～									
	目的	何・誰を対象に	外国籍市民と日本人市民を対象に								
		どのような状態にするのか	外国籍市民の生活環境の整備、利便性の向上、地域における共生を実現し、外国人と日本人相互の満足度を高める。								
		内容(手段)目的達成のためにどのような事業を実施したか	<p>◆28年度実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外国語版生活情報誌作成委託 外国籍市民の生活に必要な情報を発信するため、4カ国語(ポルトガル語、スペイン語、英語、中国語)及び「やさしいにほんご」の5種類の生活情報誌を月1回発行した。(編集、翻訳、印刷、配送(一部)を一括して委託。) 発行部数:ポルトガル語版1,490部、スペイン語版810部、英語版620部、中国語版550部、やさしいにほんご版530部 計4,000部 ・配布先:各区、公共施設、学校、保育園、企業、コンビニ、スーパー等 ・庁内の関係課の担当係長を対象に、多文化共生セミナーを開催した。 ・外国人相談員を配置し、行政手続等への相談、通訳を実施した。 ・行政文書等の多言語化に対応するため、各課からの依頼を受け、翻訳を行った。 ・各課に配置されている通訳から聞き取りを行い、外国人市民に関する諸問題等の把握に努めた。 ・外国人集住都市会議に参画し、市では解決が困難な諸問題に対して検討を行い、国の関係機関へ提言を実施するなどの活動を行った。 ・あいち医療通訳システム推進協議会に参画し、医療通訳者の派遣や電話による医療通訳等を行った。 <p>◆28年度直接経費の内訳(支出ベース)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外国語版生活情報誌作成委託料・・・10,264,320円 ・その他(筆耕翻訳料、負担金など)・・・781,421円 <p>◆29年度直接経費の内訳(予算ベース)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外国語版生活情報誌作成委託料・・・10,800,000円 ・その他(筆耕翻訳料、負担金など)・・・1,549,000円 								
		受益者負担	無								

		単位	H26決算額	H27決算額	H28決算額	H29予算額		
コスト	費用	直接経費	千円	11,887	11,201	11,046	12,349	
		正職員	従事者数	人	1.20	0.85	0.90	1.45
			人件費	千円	6,753	4,783	5,065	8,160
		その他職員	従事者数	人	0.00	0.70	0.00	0.00
			人件費	千円	0	0	0	0
	費用合計	千円	18,640	15,984	16,111	20,509		
	対前年比	%		85.7	100.7	127.2		
財源	一般財源	千円	18,640	15,984	16,111	20,509		
	国・県支出金	千円	0	0	0	0		
	その他財源	千円	0	0	0	0		

業	活動指標名	単位		H26	H27	H28	H29
	績	外国語版生活情報誌発行部数	部/月	目標	4,000	4,000	4,000
実績				4,000	4,000	4,000	
	多文化共生に関する研修の開催	回	目標	1	1	2	2
			実績	2	2	3	
業	成果指標名	単位		H26	H27	H28	H29
	相談件数	人	目標	—	—	—	—
実績			8,007	9,542	11,012		
	翻訳件数	件	目標	—	—	—	—
			実績	50	41	22	
			目標				
			実績				
			目標				
			実績				

事業の自己評価	平成28年度の実施結果	事業の達成状況	相談員による外国籍市民からの相談や行政文書等の翻訳などに加え、外国語版生活情報誌を発行し、外国籍市民に対するわかりやすい行政情報の発信に務めた。					
		事業実施における課題	外国籍市民に向けた情報発信の必要性はより一層高まっており、今後も情報発信を事業の柱として進めていく必要がある。					
	平成29年度の実施内容	29年度における実施内容や結果見込み	引き続き情報発信を事業の柱として業務を進めており、年度末までにSNSを使った外国籍市民向けの情報発信に向けた連携を図る予定。					
	平成30年度の事業の方向性	方向性の判定	縮小	対象や手段の絞込み等により、事業のボリュームを縮小すべきもの				
	削減額・削減対象	事務事業評価による額	160	千円	予算区分	13	節	節
	判定理由・削減内容	事務事業評価の結果、外国籍市民に向けた情報発信の必要性は一層高まっているが、SNSを使った情報発信を行うことにより生活情報誌の委託内容を見直し、第13節の外国語版生活情報誌作成委託料より160千円削減を図る。						
	30年度以降の実施内容	小牧市多文化共生推進プランの策定から5年以上経過しており、社会情勢が変化していることから、当該プランの進捗状況を確認し、リニューアルする必要がある。						

二次評価	方向性の判定	判定理由
	縮小	一次評価のとおり。 平成30年度以降の事業費(一般財源)は、原則的に、平成29年度当初予算の金額から本年度の事務事業評価による額を控除した金額を上限とするとともに、引き続き、効果的・効率的な事業実施に努められたい。